

C-78 福岡県における制服に関する調査（第二報）－学生の意見

中村学園短大 ○石橋葉子 柿添みゆき 福女大家政 木村和子

第一報に引続き学生の意見について報告する

方法 調査紙は中学校、高校、短大、大学に約 1700 部を配布した。回収率は約 80 % である。時期、方法、整理は第一報と同じである。

結果 中学生で制服を希望している者は 65 % であり、高校生では 84 % であつた。これを保護者の意見と較べると中学生で 23 %、高校生で 8 % 低くなつてゐる。短大、大学の制服のある学校の学生で制服を希望しているものは短大生で 44 %、大学生で 29 % であり、何れも保護者の意見より 32 %、13 % と少ない。制服のない学校の学生では短大生で 15 %、大学生では殆ど希望者はなく、希望しない又はどちらでもいゝが 97 % であつた。中学生では国立の学生は 80 % が制服を希望し、公立では 65 % であつた。男女の差は殆どみられない。短大、大学生においては都市部の学生は制服を希望するものは少い傾向である。制服に対するイメージは経済的、学生らしい、質素などの言葉が多いが個性の抹殺、情操教育によくない、不衛生などの表現も多く又現在の制服に対する不満度も高い。

同一ペアによる親子の意見の相違については後日報告する。